

地盤工学会「雪割り草の会」現地視察報告



日時 平成26年6月20日（金） 13:15～17:15
視察地 洞谷・たから流路工、新穂高溪流保全工（施工中）、外ヶ谷（北アルプス大橋）、奥飛騨さぼう塾、地獄平砂防堰堤、岩坪谷第5号砂防堰堤（施工中）、日影第1号砂防堰堤（登録有形文化財）、しのぶ砂防堰堤
参加者 地盤工学会北陸支部「雪割り草の会」7名、事務局2名

去る、6月20日に地盤工学会北陸支部の「雪割り草の会」が当事務所管内を視察しました。

「雪割り草の会」は、（公社）地盤工学会北陸支部がダイバシティー（多様な人材の個性を価値として活かし、それぞれが実力を発揮できる文化や環境の構築）の実現と女性会員の技術力向上を目指して女性技術者で結成した会で、今回は、主に富山、石川県で働く方が視察に来られました。

現在施工中の新穂高溪流保全工では景観への配慮や温泉水の有効活用等、また、岩坪谷第5号砂防堰堤では、焼岳火山直下で土石流の危険性が高い現場での安全管理について視察をして頂きました。

皆様の今後のご活躍を期待しております。（浅井）



事務所での事業説明



新穂高溪流保全工の視察



しのぶ砂防堰堤の視察